

洗心寮のもちつき



基山町

# 議会だより

No.36

平成22年 第4回臨時議会・第4回定例議会

12月議会

議長の年詞、議案審議、補正予算 P2~3

第4回臨時議会、賛否表 P4

委員会報告、意見書採択状況、  
議長交際費の公表 P5~6

10人 町政を問う P7~13

議会改革特別委員会中間報告 P14

平成23年 1月15日発行

# 新年のごあいさつ



基山町議会議長

酒井 恵 明

新年明けましておめでとうございます。  
町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春を健やかに迎えに  
なられたことと心よりお慶び申し上げます。

昨年、長い期間をかけて議論を重ねてまいりました「基山町まちづくり基本条例」を可決いたしました。本年4月1日よりこの条例が施行されます。町民個人や団体等がまちづくりの主体となって計画を作成し、町に提案することで、町民、町、議会がそれぞれに協働してまちづくりを進める条例です。

また、議会改革特別委員会を設置して議会改革について議論しました。議会は、議員定数を14名から13名に削減し、議会や委員会への出席旅費を無くすことを決めました。この他にも委員条例等の改正の事務手続きを進めてまいります。

議会として、今後も取り組むべき課題に対し自ら議論を深め、町民の皆様の負託に応えられるよう邁進していく所存です。なお一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

本年も町民の皆様にとって実り多い年であることを心から祈念して新年のごあいさつとします。

## 議員提案により条例改正

### 議員定数を1名減とし13名に 費用弁償の出席旅費を廃止

平成22年6月より取り組んできた「議会改革特別委員会」の中間報告に基づき、議員提案により「基山町議会議員の定数を定める条例」及び「議員報酬及び費用弁償等に関する条例」の一部改正について議案が提出され可決した。



- 議員定数については、次の選挙から13名で実施される。
- 費用弁償については、現在、議会や委員会に出席する毎に1日2,300円支払われているものを、来期から廃止する。

この決定により、議会費が約600万円の削減となる。

## 第4回定例議会

平成22年第4回基山町議会定例会は、12月3日に開会し12月13日に閉会した。

議案は固定資産評価審査委員の選任など人事案件が2件、補正予算が3件のほか、議会改革に伴う議員定数の削減や議員の出席旅費の廃止の2条例改正案が審議され、いずれも原案通り可決した。

# 議 案 審 議

## 子宮頸がん等のワクチン予防接種に本年度1545万円を計上

**質問** 保険事業補助金777万円の内容は。

**回答** 子宮頸がん、ヒブ(Hib)、小児用肺炎球菌のワクチン予防接種に対する県の補助金である。総費用1545万円の2分の1で残りの2分の1は町負担である。

**質問** 接種時期や対象者数は。

**回答** 22年度は1月中旬から3月までの期間。対象者は次のとおりである。

子宮頸がんワクチン 中学1年～高校1年	377人
ヒブ(Hib)ワクチン 生後2カ月～5歳未満	580人
小児用肺炎球菌ワクチン 生後2カ月～5歳未満	580人

**質問** ワクチン接種費用の本人負担はあるのか。

**回答** 費用は全額助成であり、本人負担はない。1回あたりの費用は子宮頸がんが1万5000円、ヒブ(Hib)と肺炎球菌が7500円かかる見込み。

**質問** 23年までの2年間限定の政策と聞くが、その後は町独自でもやるのか。

**回答** 国の政策の状況をみながら対応を考えていく。

**要望** 社会全体で子どもの将来を守る取組みでもある。接種率の向上のために「なぜ接種が必要か」などの広報をしっかりと行うこと。

## 協働のまちづくりでの職員の仕事の整理を

**質問** 企画費の時間外手当の43万円の増額補正は何か。

**回答** まちづくり基本条例の各地区での説明を9名のワーキングチームで行うが、その残業費である。

**質問** 協働のまちづくりの中で職員の仕事と奉仕活動の区別を整理しておくべきではないか。

**回答** 4月スタートまでの説明会などは、業務として命令を下すもので、残業となる。4月以降は勤務のあり方も含めて整理する必要がある。

## 育英資金貸付が減っている

**質問** 22年度の貸付状況はどうなっているか。

**回答** 大学生9人、高校生3人である。

**質問** 貸付金が大きく減っている。特に大学生は3年続けて減少である。返済方法やPRに課題があるのではないか。

**回答** 基山町育英資金運用委員会で検討する。

## 一般会計補正予算

9,140万円追加し総額 55億7,892万円に

### 主な補正事業

- ・地域介護・福祉空間整備等施設事業補助金(グループホームスプリンクラー補助) ……555万円
- ・障害者自立支援給付費(対象者の増加によるもの。うち国・県補助 1,619万円) ……2,159万円
- ・たんぼぼ保育園運営費(保育人員増による。うち国・県補助 1,265万円) ……2,042万円
- ・鳥栖三養基地区消防事務組合負担金(負担割合の確定のため) ……1,286万円
- ・農地農業用施設災害復旧工事費(7月大雨被害 農地2か所 分担率50%) ……590万円
- ・婦人会活動育成補助金(婦人会解散のため) ……▲45万円

## 特別会計補正予算

国民健康保険特別会計 ……318万円追加し 総額 17億7,216万円に  
 下水道特別会計 ……39万円追加し 総額 7億 475万円に

# 第4回臨時議会

開催日 平成22年11月25日（木）

## 議案

- ・基山町議会議員報酬、町長の給与、職員  
の給与に関する各条例の一部改正
- ・右記改正を主な理由とする各会計の補正  
予算

## 内容

人事院勧告の趣旨に鑑み、経済不況の実情を踏まえ、議員、町長、教育長、職員の期末手当の減額と職員の俸給の引下げ等を実施する。

審議の結果、原案通り可決された。

- ・議員、町長、教育長の期末手当は、年間  
0・15月分減額され、年間2・95月分  
なる。
- ・職員の期末・勤勉手当は、年間0・2月  
分減額され、年間3・95月分になる。
- ・40歳以上の中高年齢層の俸給を0・1%  
減額。
- ・55歳以上の6級該当者の俸給を1・5%  
減額
- ・改正による補正予算は、1223万円の  
減額

## 平成22年 第4回臨時議会・第4回定例議会議案賛否表

区分	議案	結果	1	2	3	4	5	6	8	9	10	11	12	13	
			大山勝代	重松一徳	後藤信八	鳥飼勝美	片山一儀	品川義則	林博文	大山軍太	松石信男	原三夫	平田通男	池田実	
第4回臨時議会	基山町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
	町長の諸給与条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	基山町職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
	平成22年度基山町一般会計補正予算（第5号）	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
	平成22年度基山町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
平成22年度基山町下水道特別会計補正予算（第3号）	可決	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		
第4回定例議会	基山町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	無記名投票による採決												
	基山町教育委員会教育委員の任命について	同意	無記名投票による採決												
	基山町議会議員の定数を定める条例の一部改正について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	基山町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成22年度基山町一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成22年度基山町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成22年度基山町下水道特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

# 役場別館（旧内山建設社屋）の活用 検討委員会の立ち上げを 総務常任委員会

## 委員会報告

役場別館下水道接続工事369万円の内容は旧内山建設社屋の傷みの激しい合併浄化槽を修理せず廃止し、公共下水道に接続するための工事である。

この物件は購入後、雨漏り修理など維持補修に経費がかかっているが、町としての利活用の方向性が出るまでの期間は、改修等を必要最低限にとどめて、早急に検討委員会を立ち上げ、町有財産の有効活用を図るよう要請した。

## 視察研修報告

今回は都市部に隣接し、活力のある町づくりを行い、人口増を実現している自主自立の町を訪問した

### 香川県 宇多津町

人口 1万8千人、

面積 8km<sup>2</sup>、予算約60億円

#### (1) 議会活性化の取組み

- ・議会基本条例を制定し、日曜議会
- ・議会報告会などに取組む
- ・議員総会を毎月実施し、議員だけの議論討論を充実している

#### (2) 「民官協働のまちづくり」を実践し

若者に人気の町となっている

・新旧の街並みが調和する町づくり  
古町の再生、町屋とひな祭り  
臨海公園整備：恋人の聖地  
・人口の伸び鈍化に、産官学による「産業政策戦略会議」で協働作業  
県内1、2の財政力で自立目指す

#### (3) 「所感」

- ・議会は少数で党派もなく、自由な討議、懇談で意思疎通が良い
- ・町づくりも積極的で、やるべきことをまず実行する風土がある

### 愛媛県 松前町

人口 3万1千人、

面積 20km<sup>2</sup>、予算約87億円

#### (1) 合併断念を機に、行政改革を断行

- 2億5千万円の収支改善を図る
- 大型商業施設の誘致で2000人の雇用

#### (2) 第4次総合計画で31年3万5000人を目指す

- ・土地利用を飛躍の基盤に着実に人口増を実現

#### 「所感」

- ・危機感バネに町民理解の行革断行
- ・恵まれた立地、資源を積極的に生かし町づくり投資を行い、安定的に人口増を図っている

# 国民健康保険の県内広域化について

文教厚生常任委員会

## 委員会報告

国民健康保険が平成24年度に統一されるまでに国保財政の赤字を抱える自治体は各々の努力によって健全化されるよう要望した。

また寝たきりの高齢者の在宅介護者助成事業はその必要性を十分検討するよう要望した。

## 研修報告

十月二十六日～二十八日の間、長野県下条村、宮田村及び小布施町を視察研修した。

### 「若年世帯の定着化施策」

下条村は自主財源で若年世帯用町営住宅を建設、十四歳以下の人口割合が県下一位、出生率2.04%を可能にした。この村は自主財源確保のため行政の徹底した人員削減を行い正規職員数35名、嘱託職員26名で運営している。

宮田村は子供室の設置による子育て支援、高校生までを対象としたワン・カルテシステムの導入を行っている。十四歳以下の人口割合が県下二位を達成した。取り組みの事例は保健師によ

る新生児・乳幼児家庭への訪問を実施している。また子育て支援体制の充実を図っている。例えば7ヶ月児・1歳児支援、歯科相談、子育て相談、児童相談等を実施している。

### 「図書館でまちづくり」

小布施町は図書館によるまちづくりを行っている。

図書館を「交流と創造を楽しむ文化の拠点」と位置付け、公募による設計、公募による図書館建設及び公募図書館長による図書館運営を行っている。図書館長席は入口にあって、多くのアイデアを創出して町民との交流に努めている。参考までに紹介すると長野県には公募図書館長が4人いる。



▲小布施町図書館で館長の説明を聞く

# し尿処理量、減少続く

産業環境常任委員会

## 委員会報告

三神地区環境事務組合負担金394万円減額される。平成21年10月から22年9月の間に191・7t減量したためである。

理由は、公共下水道への接続により年々、し尿処理センターへの搬入が減少しているためである。

## 大雨による大豆再播種に補助

大豆被害対策事業費補助金9万5千円が予算計上された。

再播種面積は8・16haで、種子代は21万7067円になる。この金額の3分の1の7万2355円を県が補助、10分の1の2万1706円を町が補助する。

## 視察研修

### ふれあい郷づくりと若者定住の町 青森県 六戸町

「人も自然も豊かなふれあいの郷ろくのへ」を目指して地域づくりを推進したが、「ふれあいの郷づくり事業」だ。

単位町内会（50団体）及び複数団体に予算の範囲内で自主的に企画・運営する事業に補助金を交付する。

事業は審査委員会です業内容を審査する。実績として、ごみ箱設置・環境美化活動・祭りの伝承・地域夏祭りなど多彩で、地域活動応援の要素があり、基山町の協働事業に予算措置をするの

に参考になる。

若者定住支援事業は、町内に2年連続して定住する意志のある若者夫婦（対象年齢20歳以上40歳未満）が対象だ。

民間住宅や新居を構える若者夫婦に2万円を超えた家賃を補助する。ただし限度額は2万円。補助期間は24カ月。

この事業で22年度は7件の申請で15名が六戸町に移住している。

基山町は人口減少に歯止めがかからず、空き家も増えている。若者定住対策は喫緊の課題であり、家賃の補助は有効な手段だと思う。

## 意見書の結果

今定例会に受理された意見書は6件で、6件とも採択になった。

- 脳脊髄液減少症の診断・治療の確立を求める意見書……………採択（全員賛成）
- 切れ目ない中小企業支援及び金融支援策を求める意見書……………採択（賛成多数）
- 国民健康保険の国庫負担を増やすように求める意見書……………採択（全員賛成）
- 環太平洋経済連携協定（TPP）交渉参加への慎重な対応を求める意見書……………採択（賛成多数）
- 米価下落への緊急対策を求める意見書……………採択（賛成多数）
- 新たな経済対策を求める意見書……………採択（賛成多数）

## 議長交際費の公表（平成22年度 10月～12月）

支出種別	支出年月日	支出金額	支出の相手方及び行事名等
御祝	平成22年10月14日	5,000円	10/11 城戸生産森林組合第49回通常総会
御祝	平成22年10月15日	5,000円	10/17 第38回洗心寮運動会
御祝	平成22年10月25日	5,000円	10/31 第15回つつじの里大運動会
接遇	平成22年11月10日	6,000円	10/18～20 総務常任委員会視察研修（香川県宇多津町・愛媛県松前町）土産
御祝	平成22年11月10日	4,042円	10/22 株式会社トーモク新事務所棟竣工式
接遇	平成22年11月10日	6,000円	10/26～28 文教厚生常任委員会視察研修（長野県下條村・長野県宮田村）土産
接遇	平成22年11月10日	6,000円	10/26～28 産業環境常任委員会視察研修（青森県板柳町・青森県六戸町）土産
その他	平成22年11月10日	3,500円	11/13 第63回佐賀県児童生徒理科研究発表会に際し議長表彰
接遇	平成22年11月25日	6,000円	11/9～10 議会運営委員会視察研修（福岡県大刀洗町・大分県九重町）土産
御祝	平成22年11月18日	5,000円	11/20 基山町ソフトボール協会30周年記念式典
計	10件	51,542円	
今年度累計	17件	90,482円	

# 一般質問

## 10人町政を



傍聴者56名(のべ人数)

### 子供の医療費無料化の 年齢延長を



大山 勝代 議員

はどうなっているか。

**町長** 平成22年11月現在で、12・9%だ。

**質問** 人口減への危機感はどうか。

**町長** 常に危機感を持って考えている。長期的視点と、目の前の住宅政策・医療費無料化・福祉・教育の充実など町の魅力をどうつくるかと考えている。

センターがばらばらの位置にあるので利用する町民としては不便を感じている。しかもいこいの家は老朽化して設備が整っていない。近隣市町にあるような総合保健福祉センターを建設する意思はないか。

**町長** この3つは職員やスタッフが連携し、協力しながら独自の事業を展開している。今のところセンターを建設する考えはない。

### その他の質問

・ 神の浦ため池整備の進み具合は

**質問** 基山町は、社会福祉協議会・いこいの家(老人福祉センター)・保健

総合保健福祉センター  
建設を

**質問** 今、3歳までは現物支給(窓口で支払わなくてもよい)で、6歳までは償還払いなので手続きが面倒だ。6歳までも窓口で支払わないで済むようにならないか。

**町長** 各市町の自己負担額が違うので、現在のところ難しい。県からも現物支給になるように医療機関へ働きかけをしている。

**町長** 推定だが小学3年生まで助成した場合、412万円、小学6年生までは780万円になる。

**質問** 財政が厳しい中、何百万円もの予算増は大変だろうから、段階的に年齢延長の助成をしてほしいが、いかがか。

**質問** 基山町は人口減と少子化が急激に進んでいる。0歳から14歳までの人口割合は平成12年度が18・1%だったが、現在



▲助成の年齢延長が実現するといいいね

# 公共施設の管理は適正か

鳥飼 勝美 議員



い、維持管理に努めている。

**質問** 基山町の公共施設としての建築物は、町民の福祉を増進するための施設として、これまで、総合計画に基づき、計画的に整備されてきている。しかし、町営住宅園部団地・葬祭公園・旧中央公民館等が老朽化している。建て替え計画等は考えているのか。

**質問** 今後の老朽化した公共施設の全体整備計画を策定する必要はないのか。

**町長** 今の段階では整備計画策定の考えはない。

**基山町の長期財政計画について**

**質問** この中長期財政計画は、今後10年間のものであり、実施計画、予算編成などの策定に際しての財政上の基準とするとあるがどうか。

**町長** 今後10年間の財政の見通しとして、確定している事業のみを計上している。

**質問** これらの施設は、老朽化が進み、安全性、耐震性に問題がある。町民が日々利用する公共施設の安全が保たれると、町長は考えているのか。

**町長** 毎年、修繕等を行

う、維持管理に努めている。

**質問** 今後、町長が実施しようとする、現時点での、確定していない事業についても将来の政策課題として計上するのが、

い、維持管理に努めている。

# 保育園長は現行通り参事（管理職）を

重松 一徳 議員



**質問** 保育園長を参事から係長に変更する理由は何か。

平成20年度から機構改革で、15課から10課体制（22年度から財政課を設置し、11課）になり、保育園長は課長職から参事（管理職）になりました。現在の園長の退職後の4月から、管理職ではない係長職が園長をすることの疑問点を質問し、現行通りの参事（管理職）の起用を要望しました。

**町長** 平成20年に機構改革を行う時、3年後は参事職を置かないようにしていたから。

**質問** 参事と係長の主な違いは何か。

**町長** 職務の違いで大きな違いはない。

**質問** 現在の園長は参事（管理職）で、「超過勤務の命令や年休取得の承認」も専任事項であるが、係長が園長になって管理職の仕事が出来るのか。

**町長** これらの問題は整理しないといけないと思う。

**質問** 現在の保育

園の状況を園長に質問する。園児数や日頃考慮されていることは何か。

**保育園長** 園児数は210人で、うち3歳未満児が80人いる。園児同士の「かみつき」や「ひっかき」などで怪我をすることもあり、保護者の方に説明など神経を使う。

**質問** 保護者との対応や事故・事件の対応を係長にさせるのか。

**町長** 園内で処理できるのは係長にお願いし、出来ない部分はこども課長が対応する。

**質問** 保育園に参事を置かない、というのを決定したのはどの段階で決めたのか。課長を含めた庁議・行政経営会議か。

**町長** 私が今日までの経緯があつて決めた。

**質問** 保育所問題検討委員会が検討する、となっていたが開催したのか。

**町長** 2回開催した。

員会では、係長で別に問題ない、となったのか。

**町長** 従来通り参事で対応して頂きたい、という意見があつた。

**質問** 是非とも、保護者の意見や保育所問題検討委員会の意見を尊重して、現行通りしてもらいたい。その為に、来年度予算に参事（管理職）手当を計上して頂きたい。

**町長** 今のところは係長と思うが、考えたい。

**給食センターは当面、町が直接運営**

**質問** 来年度の職員数は144名のはずだが。

**町長** 現業職の中途退職が出たので143名になる。

**質問** 現業職も採用すべきだ。給食センターは町が直接運営していくと確認しているか。

**町長** 現段階では当面、町が直接運営していく。



▲基山保育園、もちつき楽しいよ

**質問** 現在の保育

園の状況を園長に質問する。園児数や日頃考慮されていることは何か。

**保育園長** 園児数は210人で、うち3歳未満児が80人いる。園児同士の「かみつき」や「ひっかき」などで怪我をすることもあり、保護者の方に説明など神経を使う。

**質問** 保護者との対応や事故・事件の対応を係長にさせるのか。

**町長** 園内で処理できるのは係長にお願いし、出来ない部分はこども課長が対応する。

**質問** 保育園に参事を置かない、というのを決定したのはどの段階で決めたのか。課長を含めた庁議・行政経営会議か。

**町長** 私が今日までの経緯があつて決めた。

**質問** 保育所問題検討委員会が検討する、となっていたが開催したのか。

**町長** 2回開催した。

この計画の目的ではないのか。

**町長** 現時点では、実施時期、実施規模、事業費等が明確でないので、計上していない。

### 総合計画の実施計画について

**質問** この実施計画は、どのような目的で策定しているのか。

**町長** 総合計画に基づき今後3年間の予算編成の指針となるものである。

**質問** この実施計画の事業費総額は70億円で、その裏づけとなる財政計画の事業費総額は50億となっている。整合性がないが。

**町長** 財政計画には、特別会計の下水道事業、国保事業会計を計上していない。

**質問** 基山町まちづくり基本条例が来年度から施行されるが、実施計画にはこの関連経費が全く計上されていない。予算は伴わないのか。

**町長** 現時点では、計上していないが、今後必要となれば計上していく。

### 国民健康保険について

**質問** 国保会計は、高齢化の進行により、年金生活者や失業者等の割合が高くなり、財政運営が厳しくなるが、国保税の改正はあるのか。

**町長** 現在のところ、平成24年度までは保険税の改正は考えていない。

**質問** 国民健康保険の広域化とは、なにか。

**町長** 現在、各市町が独自で運営している国保を、佐賀県内が一つの保険者として運営するもので、平成25年度から発足する予定である。

**質問** 後期高齢者医療制度の見直しは今後どのようになるのか。

**町長** 現在、県内の全市町で構成する広域連合として実施しているこの高齢者医療制度は、平成24年度で廃止の予定であり、平成25年度からは、佐賀県が一括的に財政運営する、新たな高齢者医療制度として発足する予定である。

## ごみ処理問題について

片山 一儀 議員



**質問** 一般廃棄物の収集運搬を随意契約で実施しているのはなぜか。

**町長** 適正処理を確保するためだ。

**質問** 法は随意契約を定めていない。プロポーザル方式は検討したか。

**町長** 検討していない。

**質問** 随意契約の欠点は価格資料を契約予定者から徴取し競争性がなく価格が高止りだ。価格の検証はしているか。

**町長** 経済性より適正性を重視している。

**質問** 年間のごみ処理費用は基山町1万5054円、筑紫野市1万3959円、小郡市1万3884円、鳥栖市1万774円だ。業者の言いなり

で、それをチェックしないために住民に大きな負担を強いている。

**町長** 基山町は収集形態が異なるので比較できない。今後研究する必要は認める。

**質問** クリーンヒル宝満への直接搬入料金は家庭ごみ・事業ごみ共に10kg当り150円鳥栖市は家庭ごみが100kg当り300円事業ごみは100kg当り1500円だ。町は家庭ごみで鳥栖の5倍を徴収している。家庭ごみと事業ごみの搬入料金は、なぜ分けないのか。

**町長** 以前は事業ごみ100円、家庭ごみ40円だった。ごみの量が増大、事業ごみと家庭ごみの見分けがつかない。他からのごみの搬入が後を絶たない。

**質問** 基山町は住民に過大な費用を払わせている。ごみ処理の原則はご

みの減量だ。法で認められた廃棄物減量等推進協議会等の設置はしているか。

**町長** していない。

### 補助金について

**質問** 21年度の補助金総額は3億9707万円、補助金検討委員会で見直し後、補助金が増えている。

**町長** 国の補助が変わった。町単独は増えていない。

**質問** 22年度は体育協会補助金390万円、文化協会補助金16万円だ。なぜ不公平なのか。体育協会と文化協会の補助金算定根拠は。

**教育長** 体育協会は出場費、事務員の手当等を積算、文化協会は文化祭の参加費である。

**質問** 商工会の補助金は約1千万円だ。算定根拠は。

**町長** 算定根拠はない。歴史的経緯があり商工振興のためだ。

**要望** 商工会に補助をすることは大事だ。真に必要な補助金に限定し説明

可能で根拠ある補助を行うべきではないか。さもないと税金の無駄遣いになる。

### 行政力について

**質問** 強い行政が質の高い行政サービスを可能にする。定住・人口増加提案書が報告された。評価は。

**町長** 参考にはなりうると思う。

**質問** これは現状分析がなくて提案が出ている。

**町長** すぐ結論付けたわけではない。

**質問** 思考過程を聞いた。計画をコンサルタンに委託し、採用試験時の作文評価を外注するのは職員への鍛え方を左右する。管理者は部下を鍛える組織力化する責任がある。

**町長** 言われる通りだと思う。厳しいことをいうのが職員のためかどうか。

**要望** 脱皮できない蛇は死ぬ。情勢に適応できない組織は崩壊する。改善を望む。

## 基山町は町民の負担にふさわしい 魅力ある町か？人口減少の危機感を問う



後藤 信八 議員

### 要は転入が少ない

**質問** 平成12年～21年までの人口減の実態は。

**町長** 10年間で人口減1万133人、自然減1万233人、社会減1万1010人。

**質問** 社会減の内訳はどうか。

**町長** 転入7888人、転出8898人。

**質問** 今後の人口見通しは。

**町長** 22年度末1万7756人、27年1万7063人、32年1万6228人。

**質問** 大変ショックな見通しである、減る要因は何か。

**町長** けやき台マンションの遅れ、20代の転出が多い、少子化高齢化などである。

**質問** 少子化や若者の流

### 土地利用の見直しが遅い

**質問** 商工会から要望の出した近隣商業地域の容積率の見直しはいつするか。

**町長** 商店街活性化の具体事業が出れば、見合う見直しが必要と考える。

**質問** 受け身ではないか。駅前再開発は町全体の課題ではないのか。

**町長** 要望が出てからではなく積極的、政策的に取り組む。

**質問** 旧庁舎跡地のみが容積率400、他の町有地や郵便局、農協などの土地は容積率200で、活用できて3階建てしか建てられない。全体の見直しが先ではないか。

**町長** 政策的に進める。町有地だけでなく、農協等も好立地の活用を求めていく。

**質問** 郵便局移転の陳情に町としてどう対応したか。民と民の話だが町も積極的に関与すべきと思う。

**町長** 商工会、モール商店街と町と共に、移転の要望を基山郵便局長に提出した。

### けやき台の将来をもっと真剣に

**質問** けやき台の将来を

誰が考えているか。住環境整備を今後どうしていくのか。

**町長** 買物、病院など新たな施設は難しいが、足の確保が必要と考える。幹線道路整備も考える。

**質問** 買物不便対策でけやき台での朝市の要望がある。町と商工会と地元との協働で可能なはず。

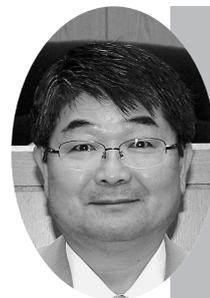
**町長** 採算的には難しいと聞くが、更に関係先と検討していく。

### 大きな町民の負担

**質問** 基山町民の一人当たり町民税は県内で一番高いことをご存じか。負担にふさわしい魅力ある町と思うか。(左表)

**町長** 税率は同じだが、金額が高いことは知っている。他市町より社会基盤は整備した。あともう少し付加価値が必要と思う。

## 下がる所得、上がる国保税



松石 信男 議員

ら平成21年22・7%以下がっている。

### 半減した国庫負担

**質問** 国民健康保険制度は国民に安心して医療を提供する制度である。ところが命を守る社会保障制度としての国保でありながら、高すぎる国保税が払えないため、保険証の取り上げなどが増えている。

**町長** 税率は同じだが、金額が高いことは知っている。他市町より社会基盤は整備した。あともう少し付加価値が必要と思う。

1984年(昭和59年)には国保の収入に占める割合が50%だった国庫支出金が、現在25%以下になったのが国保会計の悪化や国保税の引き上げにつながっている。基山町ではどうか。

**町長** 国庫支出金の割合は、昭和59年49・6%か

**町長** 所得が下がって国保税が上がっているのは国民の生活を圧迫する。

**要望** 全国の自治体の7割が一般会計から、一人当たり1万円の繰り入れをしている。基山町も実施して一世帯あたり1万円の引下げを求めたい。

### 国保の広域化で上がる国保税

**質問** 財政基盤安定のためということ、国保の

一人当たり個人町民税 (20年度)	
基山町	52,800円
鳥栖市	50,300円
佐賀市	49,600円
県平均	41,100円
10町平均	38,200円

\*20年度の市町民税から法人税割額を引いた額を人口で割って算出

# 高齢化が進むけやき台に 家庭菜園の斡旋を

平田 通男 議員



**質問** 町全体の「遊休農地」の面積はいくらあるのか。

**質問** 本年の三月議会で提案し、要望したけやき台の高齢化対策としての「家庭菜園」の斡旋はどうなったか。

アンケート調査の結果はどうなっているのか。(アンケートをするように要望していたが。)

**町長** アンケートはしていない。



**要望** 住民のアンケートをして頂くように要望していたが、担当課では、そのアンケート調査すらしていない。  
アンケート調査をする事がそんなに大変な事なのか。  
以前、三井ニュータウンの高齢化が進むなかで、2100㎡の土地を斡旋し、今だに大勢の方が立派な「基山体験農園」として楽しみながら活用されている事を考える

と、荒廃地の利用が出来ていない事は残念でならない。さらに強く町当局に再考を促したい。

**質問** 23年度の小森町政の目玉予算は何か。

**町長** 乳幼児医療、放課後児童拡充、基肆城・水門の保存、町史縮少版の作成、図書館検討委員会、城戸1号線、城の上線、

総合公園整備、子宮頸がん・ヒブ(Hib)ワクチン・小児肺炎球菌の助成、協働・まちづくり基本条例の推進等を考えている。

## その他の質問

- ・ 職員の労務管理
- ・ けやき台の道路
- ・ 神の浦ため池工事



広域化(自治体の国保を佐賀県に一本化)の協議がされているが、基山町の国保税はどうなるのか。

**町長** 国保税は上がる方向でいくのではないかと思う。

## 水道料下げる方向で検討

**質問** 共産党基山町議団の「町民アンケート」では「水道料金の引下げ」が町民の切実な要望となっている。町長は佐賀東部水道議会の議員として基山町民のこの声を届けて欲しい。

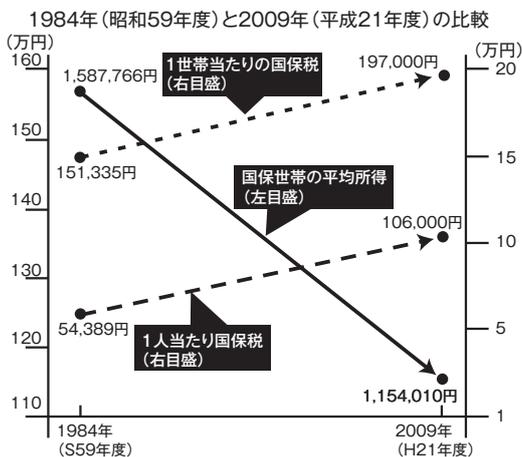
**町長** 緊急雇用創出事業で28人予定。雇用期間は6か月と1年間。

**町長** 佐賀東部水道企業団では行財政改革をやつて、今度いくらか引き下げるといふことで検討している。

## 28人を緊急雇用

**質問** 来年卒業の高校生や大学生の就職内定率が前年より大変低い。来年度の役場の緊急雇用計画では何人を予定しているのか。

基山町の国保世帯の平均所得額と国保税額



## 定住人口増対策について

原 三夫 議員



### 定住人口増対策迷走

**質問** 町の重要課題の一つが平成12年度から人口減少が続き、若手職員6名で「定住・人口増対策検討委員会」が設置され、9月に町長に提案書が提出された。町長の見解を問う。

**町長** 内容は現在検討している。職員が頑張っており、取り組んだ提案書などで、真摯に受けとめ対応する。

### 市街化区域の拡大が急務

**質問** 提案書では人口増

対策の課題として市街化区域の拡大（線引きの見直し）が必要としている。また、既存の市街化区域内の未利用地は調整区域へ変更すべきだ（逆線引き）としている。しかし町の第4次総合計画では市街化区域は拡大しないとなっているが、町長の見解を問う。

**町長** 市街化拡大は難しい。しかし、誘致が確定できれば、また住宅団地開発が確定できれば市街化にできる。逆線引きは県と協議する。

**町長** 内容は現在検討している。職員が頑張っており、取り組んだ提案書などで、真摯に受けとめ対応する。

### 人口増対策室の設置を

**質問** 平成12年1万9300人、平成22年1万7823人、10年間で1500人が減少。また今年

## 循環バス運行にオンデマンド交通システム導入を

品川 義則 議員



**質問** 循環バスの平成20年度、21年度、22年度の利用者は何人か。

**町長** 20年度の利用者は1万1289人、21年度は1万4444人、22年度は10月末で7024人（推計年1万2000人）となっている。

**質問** 昨年実施した乗合タクシーの試験運行結果は出たのか。

**町長** 昨年12月から3月にかけて2回試験運行をした。利用者は一回目169人、二回目512人の計681人の利用者があった。

**質問** 乗合タクシーの検証はしたのか。循環バスとの比較検討はしたのか。

**町長** 町外の病院へ行けなかったという結果が出ている。

**質問** この不満は循環バスに関しても同様の課題である。路線の変更も含め検討しないのか。

**町長** 基本的には町内の交通体系の整備ではあるが、今後の検討課題である。

**質問** 循環バスの委託業者が変わったが、それに伴い運行内容に変更はあったのか。

**町長** 交通手段アンケートの要望を参考に各路線役場、JR基山駅間の午

後に一便追加している。

**質問** 東大大学院が開発した交通システムが全国各地で実証試験が行われている。30分前に予約でき、運用コストも格段に安価であるシステムを導入し循環バスと併用して運行できないか。

**町長** これから検討する場合は選択肢の一つになる。

**質問** 委託先を変更し運行内容を変更したが、循環バス検討委員会を開催したのか。

**町長** 昨年の試験運行、循環バスに関しても検討委員会は開催していない。

**要望** 乗合タクシーを試験運行しアンケートまで取ったのならば、ぜひ検討委員会を開催し、より町民が利用しやすい交通手段を提供してほしい。

### その他の質問

- ・消防団女性部について
- ・きのくに祭りについて
- ・役場の窓口業務民間委託について

平成21年度 循環バス運行実績

月	運行日数	利用者数	一日平均利用者	一本平均利用者
4月	25	963	38.5	6.40
5月	23	848	36.9	6.15
6月	26	979	37.7	6.28
7月	26	979	37.7	6.28
8月	26	862	33.2	5.53
9月	23	876	38.1	6.35
10月	26	889	34.2	5.70
11月	23	813	35.3	5.93
12月	23	803	34.9	5.82
1月	23	735	32.0	5.33
2月	23	790	34.3	5.72
3月	26	907	34.9	5.82
合計	293日	10,444人	35.6人	5.94人

1年間では174人の減少だ。専門家を中心とした人口増対策室の設置などの早急な対応が必要だと思う。そのためにも23年度当初予算に是非予算計上すべきだと思うが。

**町長** 対策室等は大事と思うので、今後検討していく。当初予算計上は今の段階で考えていない。

**質問** 人口減に対する町長の危機感が伝わって来ない。また職員の危機感もないように思うが。

**町長** 町長として危機感を持っている。全職員の危機感については把握していない。

**質問** 鳥栖基山地域ビジョン検討委員会（メンバー16名）が2008年12月に二つの提言に関して四つの提案がされている。その後の進捗状況を問う。

**町長** 提言の1として「鳥栖基山の連携協調をさらに強く」その提案で

①教育政策（県境を越えた学校選択の普及促進）  
②一体感。2として「鳥栖基山の強みをさらに強く」その提案として①九州における環境政策の拠点②九州全土の災害対策であった。一体感が見えるまちづくりの取り組みは勉強会をしている。その他の提言・提案についてはまだしていない。

**質問** 2年間ほとんどが検証されず、どうなっているのか。その理由は何か。

**町長** 施設利用等についても協議したが進展していない。

**教育長** 教育政策では数回行ったが県を含めた協議が必要であり、中断した。

## 基山町で軽トラック市を開催 し活性化を図ったらどうか

大山 軍太 議員



**質問** 宮崎県川南町や吉野ヶ里町で開催されている軽トラック市による町の振興策として開催できないか。

**町長** 実施しているところは商工会を中心に開催されている。商工会でも検討されたが厳しいとの結論が出されている。



**質問** 川南町の軽トラック市を昨年産業環境常任委員会で視察研修に行った。500m程の道路に軽トラック120台が出店。来客数約3000人程度だった。祭りのようなにぎわいだった。是非基山町でも開催できないか。

**町長** 町が主体で実行委員会での立ち上げは現時点では考えていない。

**質問** 町が主体になれない理由は何か。

**町長** 川南町は商工会が主体となつて国の補助事業制度を活用している。やはり商工会を中心に農業者や自分たちが主体となつてやる気がなければ成功しない。失敗等問題が起きた時に責任を投げかけられても困る。

町はできる範囲で応援する。

**質問** 本町は条件的に恵まれていると思う。開催場所は球場周辺、体育館前広場、モール商店街等が適している。道路のアクセスも良いのでお客の集客も多いと思うが。

**町長** 議会と前向きに話して行きたい。

### 市街化区域の見直しを

**質問** 人口減少対策について平成11年をピークに1300人減少している。今の市街化区域内での人口増に拘っても人口増加を図ることは難しいと思うが市街化区域は拡大しないか。

**町長** 市街化区域の拡大についてはご承知のとおり市街化区域内に残存農地が28haある。このようなことから、現在のところ拡大は困難と思

われる。

**質問** 山間部の地域の状況はどうか。

**町長** 山間部の状況は次のとおりである。

	人口				
	1区	2区	4区	6区	計
平成元年	1,376	1,111	890	1,030	4,407
平成11年	1,201	1,197	843	937	4,178
平成15年	1,168	1,124	822	939	4,053
平成22年	1,074	984	724	925	3,707
11年-22年差引	△127	△213	△119	△12	△471
元年-22年差引	△302	△127	△166	△105	△700

# 議会改革特別委員会中間報告

特別委員会は6月9日の本会議において設置され、その後16回の会議を開催して一定の審査結果をまとめた。ここに会議規則第46条の規定により中間報告をした。  
今後は審査結果の具体化に向けて条例改正等の諸手続きを実施する。

なお他の審査結果概要は次のとおり。

## すぐに取り組み改革を実施すべきもの

- 来期から議員定数を14名から13名にする。
- 来期から費用弁償の出席旅費を廃止する。
- 一般質問は、1回目は双方とも演壇で行い、2回目以降の答弁者は自席から答弁を行い、質問者は質問席から質問を行う。質問時間は現行どおり70分とする。
- 議会傍聴名簿の年齢欄を削除する。
- 議会傍聴者には、可能な限り議案の配布・貸出を行う。
- 「議会だより」の早期発行に努める。

## 早急に改革を実施すべきもの

- 休日・夜間議会に取り組み。
- 来期から常任委員会を3常任委員会から2常任委員会とする。
- 全員協議会を定期的に開催し、議員同士の自由な情報交換・討論の場とする。

- 視察研修は、目的、必要性に応じ研修内容・方法を自らチェックし検討する。

- 今後、必要に応じて区長会と議会の懇談会を開催する。

- インターネットライブ中継は実施する方向で他団体等の実施状況、方法、経費等を調査し検討する。

## 今後検討し改革していくもの

- 議員報酬は報酬審議会の状況も踏まえ、研究課題とする。
- 通年議会については重要な課題と認識し、さらに調査研究する。
- 議会が開催する公聴会、説明会、報告会は研究課題とする。
- こども議会、体験議会等は、検討課題とする。

## 今後の課題とするもの

- 議会評価制度
- 議会基本条例の制定
- 政治倫理条例の制定

平成23年3月  
「定例議会の予定」

傍聴へどうぞ!!  
車椅子席もあります

開会日は4日(金)、  
一般質問は7日(月)・8日(火)、議案審議は9日(水)からの予定です。

## 広報編集委員会

委員長 品川 義則  
副委員長 重松 一徳

委員 大山 勝代  
委員 後藤 信八  
委員 片山 一儀